

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [舌圧子とK-ポイント](#) | [TOP](#) | [子どもの事故・窒息死](#) >>

2019年12月14日

<< **2022年08月** >>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

最近の記事

- [\(08/17\)4回目のプスター接種・イスラエルからの報告\(遅ればせながら\)](#)
- [\(08/12\)駆出率の保たれている心不全には塩分制限は、ほどほどに](#)
- [\(08/10\)コロナとインフルワクチンの同時接種での副反応、ファイザー製vs.モデルナ製](#)
- [\(08/10\)日本感染症学会よりインフルエンザ対策の提言](#)
- [\(08/09\)運動は週末だけでもよい](#)

最近のコメント

- [ネット情報・8月5日](#) by (08/06) [オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
- [オミクロン株でクルーズ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
- [糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
- [4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#)(223)
- [循環器](#)(249)
- [消化器・PPI](#)(148)
- [感染症・衛生](#)(281)
- [糖尿病](#)(128)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(100)
- [インフルエンザ](#)(106)
- [肝臓・肝炎](#)(62)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)

抗インフルエンザ薬の使い分け

抗インフルエンザ薬の使い分け

<業務連絡用>



今シーズンは、インフルエンザ治療薬が多種類上市されておりメリットも多い反面、使い方に思案してまいります。

・基本的にはタミフル

安定した血中濃度が期待され、又10代の使用制限が2018年に削除されたため、現在では新生児から高齢者まで使用出来ます。

・イナビル吸入剤は

長時間にわたり気管や肺に停留して抗ウイルス効果を発揮するため、一回投与で完結します。一昨年からは予防投与も認可されています。又、本年度からコンプレッサーを用いた乳幼児向けの製剤も上市されました。

・ゾフルーザは

高率にウイルスのアミノ酸変異を生じる事により懸念されていますが、その影響に対しては未だ明らか

ではありません。しかし抗ウイルス作用に優れ、早期より周囲への感染性を低下させる事も期待されています。

他のノイラミニダーゼ阻害薬との併用に関しては期待されますが、十分なエビデンスは未だありません。

(と言う事は、もしかして?)

脳・神経・精神・睡眠障害(47)
 整形外科・痛風・高尿酸血症(32)

フクチン(76)

癌関係(11)

脂質異常(28)

甲状腺・副甲状腺(19)

婦人科(10)

泌尿器・腎臓・前立腺(41)

熱中症(7)

日記(23)

その他(81)

過去ログ

2022年08月(10)

2022年07月(13)

2022年06月(15)

2022年05月(15)

2022年04月(14)

2022年03月(15)

2022年02月(14)

2022年01月(16)

2021年12月(14)

2021年11月(17)

2021年10月(17)

2021年09月(13)

2021年08月(16)

2021年07月(12)

2021年06月(16)

2021年05月(16)

2021年04月(14)

2021年03月(18)

2021年02月(19)

2021年01月(16)

2020年12月(17)

2020年11月(15)

2020年10月(17)

2020年09月(19)

2020年08月(14)

2020年07月(17)

2020年06月(14)

2020年05月(21)

2020年04月(18)

2020年03月(18)

2020年02月(18)

2020年01月(19)

2019年12月(14)

2019年11月(15)

2019年10月(18)

2019年09月(18)

2019年08月(14)

2019年07月(14)

2019年06月(16)

2019年05月(14)

2019年04月(18)

2019年03月(19)

2019年02月(19)

2019年01月(15)

2018年12月(16)

2018年11月(20)

2018年10月(20)

2018年09月(18)

2018年08月(24)

2018年07月(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

表1 抗インフルエンザ薬の一般

一般名	オセルタミビル	ザナミビル	ラニタミビル	ペラミビル	バロキサビル
商品名	タミフル	リレンザ	イナビル	タビアクタ	ゾフルーザ
作用機序	ノイラミニダーゼ阻害	ノイラミニダーゼ阻害	ノイラミニダーゼ阻害	ノイラミニダーゼ阻害	キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害
初期ウイルス型	A型・B型	A型・B型	A型・B型	A型・B型	A型・B型
投与経路	内服(カプセル・ドラッグロップ)	吸入	吸入(吸入器・吸入器は使用不可)	注射	内服(錠剤・顆粒)
成人の用法用量	1回75mgを1日2回、5日間	1回10mg(2プリストア)を1日2回、5日間	40mg(2容器)を1回もしくは20mg(1容器)を1日2回、2日間	300mgを単回(連日投与も可)	40mgを単回(80kg未満)
標準経路	腎	---	---	腎	肝
1コース薬価*	2,678.0円	2,890.0円	4,359.0円	6,331.0円(バップ製剤)	4,877.6円(80kg未満)
子供の用法用量(成人)	1回75mgを1日1回、7~10日間	1回10mg(2プリストア)を1日2回、10日間	40mg(2容器)を1回もしくは20mg(1容器)を1日2回、2日間	承認無し	承認無し
主な副作用	消化器症状、頭痛など	気管支炎(特に喘息・慢性気管支炎患者)、発熱、頭痛、悪寒、嘔吐、下痢、腹痛、腰痛、関節痛、肌疹、アレルギー反応など	気管支炎(特に喘息・慢性気管支炎患者)、発熱、頭痛、悪寒、嘔吐、下痢、腹痛、腰痛、関節痛、肌疹、アレルギー反応など	下痢など	下痢など
特長	生体内利用率が高い - 空腹時服用も使用可 - 使用経路が豊富	- 全身性の副作用のリスクがない	- 承認で完結 - 全身性の副作用のリスクがない	- 唯一の注射製剤 - 承認で完結	- 内服で唯一、承認で完結(高年齢者と薬物相互作用を考慮して承認されている)
欠点	- 服用が必要 - 腎機能によって投与量の調節が必要	- 服用が必要 - 高齢者や小児では十分に提供できない - 喘息がある患者に禁忌	- 高齢者や小児では十分に提供できない - 喘息がある患者に禁忌 - 高熱	- 腎機能によって投与量の調節が必要 - 高熱	- 使用経路が少ない - 体重によって投与量の調節が必要 - 高熱

*2019年10月1日時点

◆参考文献

抗インフルエンザ薬の使い分け ; 浦上宗治 Medical Practice v.36 n.12. 2019

私見)

最近、車の番組である著名人が言っていました。

「初代のマツダロードスターに比べたら、今度のははるかにいいんですよ。初代を越して

いないと

思いますね。」

しかし、ちょっと思ったんです。この新型ロードスターにどれだけの開発努力を関係者はした

んだろう

かと。

世界の田崎が言っています。「このワインは高級だが、あちらはだめだと言う人は、人に対して

いった見方をするんじゃないかと思うんですよ。」

事は人の健康に影響する薬です。厳格な専門家の評価が必要です。しかし専門家と言えども

軽々に

評価を下すべきではないと思います。

抗インフルエンザ薬にはそれなりの特徴があります。日経メディカル総説の河合直樹氏のレポートは

参考になります。下記のPDFで掲載します。職員の皆さん、シーズン到来で勉強しましょう。

(本ブログの写真のロードスターに免許返納の前に購入して、九十九里海岸を一人でゆったりと

と走りた

です。本当はその気になれば、もっとぶっ飛ばせるんだぞと思いつつながら。 . . .)

[小児 インフ 治療薬.pdf](#)

[イナビル.pdf](#)

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【インフルエンザの最新記事】

[今季のインフルエンザワクチンの推奨](#)
[インフルエンザ流行状況・12月27日現在..](#)
[小児におけるインフルエンザと新型コロナ](#)
[今季のインフルエンザ・ガイドライン](#)
[インフルエンザの迅速診断は家庭でも可能](#)

posted by 斎賀一 at 16:11 | [Comment\(0\)](#) | [インフルエンザ](#)

この記事へのコメント

